

平和を求めて
22
私の町の戦争跡

一〇万人の命うばった東京大空襲
墨田区 押上、立川地域

三八万発の焼夷弾
が投下された

一九四五（昭和二〇）年、三月十日の未明、米軍のB29爆撃機数百機が深東京の下町など広範囲に約38万発、一七〇〇トンの油脂焼夷弾、黄燐焼夷弾やエレクトロン焼夷弾などが投下され一瞬にして火の海にし、十万人の命を奪いました。

二度とこうした被害を繰り返してはならない、と都内には多くの戦争遺跡があります。

今回は、墨田区の立川地域と押上地域を訪ねま



弥勒寺の
聖観音像

「父を求め母を尋ね子を探し妻を呼ぶ声よりも凄まじい火炎と爆撃の中で一九四五（昭和二〇年）三月十日の朝を迎えました・・・こう刻まれた銘板は弥勒寺（立川一丁目）写真下）境内にたつ

「聖観音像」（写真左）です。この台座には三千五百体の遺骨が収納されています。観音像は三十



榎稻荷神社の
竖川地藏尊

三忌にあたる一九七七年（昭和五二）三月十日に建立されました。

榎稻荷神社の
竖川地藏尊

菊川小学校の隣にある榎稻荷神社に空襲犠牲者

ちには鉄筋コンクリートの建物だった小学校の校舎に逃げ込みましたが、すさまじい炎は窓ガラスを突き破り屋内にいた人たちの命も奪いました。四五一五人の犠牲者を追悼して地藏尊が建立されました。



また境内には焼けただけれた榎（写真右下）があり、いまもその姿を残しています。

を供養する
竖川地藏尊
（写真下）
があります。
焼夷弾がつ
ぎつぎ投下
されたこの
地域の人が



榎稻荷神社の榎

炎が半身を焼きとつた
円通寺のぬれ地藏

押上駅からほど近いところの円通寺の墓地に、通称「ぬれ地藏」（写真左上、左下）と呼ばれる地藏さんがあります。

東京大空襲の炎は、地藏さんもつつみ半身を焼き削り取りました。
悲惨なその姿を今も残す地藏さんは、当時の爆撃の



ひびきを生々しく伝えて
います。